

オープンフォーラム及び企画セッション
参加申込はこちらから
<http://scirex.grips.ac.jp/>

第1回科学技術イノベーション政策のための科学オープンフォーラム 「エビデンスから考える未来社会への戦略とシナリオ」

東京大学STIG企画セッション

大学における研究リスク・マネジメントと研究促進 - 課題の全体構造とデータと成果の取扱いに焦点を当てて -

2017年1月25日(水) 13:00-15:00

イノホール&カンファレンスセンター(霞ヶ関駅直結) 4階Room B 1・2

大学が研究活動において直面するリスクは、研究倫理、利益相反、安全保障貿易管理、そして最近の論点である、データの取扱いなど多岐にわたっています。個々のリスク・マネジメントには専門的知識が求められるため、各大学は専門人材を配置して対処しつつあるところですが、他方で、研究活動を阻害することがないようにマネジメントのあり方も課題となっています。本セッションでは、主に産学連携活動で生じるリスク要因を俯瞰するとともに、データとその成果の取扱いに関する課題を取り上げ、個々のリスクの特性を踏まえた上で、全体最適を目指すマネジメントのあり方と、今、大学が何を行っていくべきかについて討論を行っていきます。

【対象者】大学の産学連携マネジメント、研究マネジメントの実務家(技術移転担当者、産学連携コーディネーター、利益相反担当者、URA)、および、その研究者、産業界の産学連携研究契約担当者、産学連携に関わる政策立案者

【キーワード】

研究リスク・マネジメント、利益相反マネジメント、知的財産マネジメント、個人情報保護、研究広報

話題提供者1: 渡部 俊也 (東京大学政策ビジョン研究センター 教授)



大学のデータ取扱いの課題について、研究のビッグデータ化や産業界との連携の要点の変化など、現在の最新の議論を紹介するとともに、東京大学で実践する利益相反マネジメントの概要を紹介する。

話題提供者4: 日置 巴美 (弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士)



主にデータサイエンス分野での産学連携の研究を行う上で、個人情報保護法上求められるデータの基本的な取扱いについて、特に大学が留意すべき点について紹介する。

話題提供者2: 吉岡(小林) 徹 (東京大学大学院工学系研究科 特任講師)



本プロジェクトで実施した医学分野における利益相反、知的財産マネジメントに関するワークショップで得られた知見を主に紹介する。

話題提供者5: 岸本 充生 (東京大学公共政策大学院 特任教授)



リスク・マネジメントの基本の考え方を紹介し、特に大学としてどのような体制を取ることが望ましいか提案を行う。リスク・アセスメント、なかでもリスクのエンドポイントについての評価の仕方について議論する。

話題提供者3: 小泉 周 (自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授)



研究成果の広報にあたって生じるリスクと、そのマネジメントに対するURAの役割を紹介する。



【セッションオーガナイザー】

東京大学科学技術イノベーション政策の科学(STIG)
城山英明(東京大学公共政策大学院 教授)

第1回科学技術イノベーション政策のための科学オープンフォーラム(2017.1/24-25)
主催: 政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター (SciREXセンター)

SciREX
サイレックス事業

科学技術イノベーション政策における
「政策のための科学」

オープンフォーラムの詳細・参加登録は以下URLへ
<http://scirex.grips.ac.jp/>



STIG
SCIENCE, TECHNOLOGY,
AND INNOVATION GOVERNANCE

企画セッションについての問合せ先: STIG@pp.u-tokyo.ac.jp